



みんなの家の前に植えられた桜の木

春の花見を心待ちに

木山仮設団地で桜の木の植樹

2月1日、木山仮設団地で桜の植樹が行われました。これは、ドイツの企業カールツァイス社からの寄贈を受けてのもので、町にはテクノ仮設団地と木山仮設団地に合わせて5本が送られ、木山仮設団地では、みんなの家の前に3本の木が植えられました。

木山仮設団地東地区の自治会長の荒瀬芳昭^{あら せ よしあき}さんは「立派な木を植えてもらってありがたい。4月には集会所の前で、みんなで花見をしたいと考えています」と楽しみな様子でした。

現在の町の姿を空から見たい

中学生も協力して気球を飛ばす

1月21日、益城中学校で「益城町に気球を飛ばそうプロジェクト」^{みむらいっせい}(三村一誠代表)が開催され、希望した生徒11人が準備段階から参加し、早朝のまだ暗い中、気球の組み立てから膨らむまでを手伝いました。

バーナーが点火され、気球が徐々に膨らんでいくと、その場にいた生徒や先生たちから歓声が上がりました。

部活にきた中学生を中心に160人が気球に乗り、「いざ上がると怖かった」「家がいっぱい見えた。小さい」などと感想を話していました。



大きな気球を見上げる集まった中学生たち



鬼に向かって豆をまく園児たち

元気いっぱいな1年を願って

町内幼稚園・保育所で節分の豆まき

2月3日の節分に町内各所で豆まきが行われました。第一保育所^{はやたじゅんこ}(早田順子所長)でも、98人の園児が「おしゃべり鬼」や「泣き虫鬼」などそれぞれが退治したい鬼を決め、交代で鬼役をしながら、笑顔で豆まきを楽しんでいました。しかし、保育士が装う“本物”の鬼が現れると、雰囲気は一変。怖さや涙をこらえながら、力いっぱい豆を投げていました。鬼を退治すると、福の神が登場し、園児たちは「1年元気に過ごせますように」という願いをこめて手を合わせていました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

